

## 6月1日(月) 始業式の校長あいさつより抜粋

コロナウイルスは人を選びません。誰でもかかる可能性がある病気なのです。自分の不注意では無くとも、偶然、知らないうちに感染者とともに、3つの密（密閉、密集、密接）の中に身を置いてしまったり、また、感染者が触ったところを知らぬ間に触って、触れた手から目や口にウイルスが入ってしまえば、このように話している校長先生でも感染してしまいます。それは、みなさんにとっても同じことなのです。

今、みなさんの中には、感染者がまだいないと思います。だからこそ、自分事と捉えて、感染しない努力を十分に行ってください。

また、感染者がいない、今だからこそ話をします。ここからはあくまで想像の話ですので、恐れずに聞いてください。

これからのちに、自分がコロナウイルスに感染してしまったと想像してみてください。

あなたは、どのような思いをするでしょうか？ どんなことが心配になるでしょうか？

それこそ、様々な思いを持ち、様々な不安を抱えることになるでしょう。

今感染している人たちは、実際にそのような思いや不安を抱えていますし、これから感染する人たちも、同じ思いや不安を抱えることになるのです。

ですから、これから、もし、この学校の生徒のみなさんや、先生方の中からコロナに感染した人が出たとしても、また、みなさんの家族から、感染した人が出たとしても、その人を責めたり、非難することだけは、絶対にやめてほしいと思います。

私たちは、ひとつのチームなのですから。

ラグビーが流行っているときだけがワンチームではないのです。このような局面でこそ、互いの気持ちに配慮し合い、温かい心を持って支え合えるのが、本当のワンチームです。

自分は絶対に感染しないぞ、という強い思いを持ちながら、仲間が感染してしまった場合には、辛い思いをしているであろう、その「ひとり」を全員で支えていきましょう。